



1959年宝塚市生まれ、宝塚市育ち
京都精華短期大学（現京都精華大学）マンガ卒業
イラストレーター
安全な食べものの共同購入会活動を経て、環境、
エネルギー問題全体にかかわる

2012年設立
「NPO法人新エネルギーをすすめる宝塚の会」 理事

2013年設立
「株式会社宝塚すみれ発電」 代表取締役

2015年設立
「一般社団法人ご当地エネルギー協会」 理事

2015年設立
「一般社団法人みんなの低温殺菌牛乳協会」 理事

2017年設立
「一般社団法人西谷ソーラーシェアリング協会」 所属

2018年
「一般社団法人ソーラーシェアリング推進連盟」 理事

2020年より兵庫県再エネアドバイザー



宝塚すみれ発電所



1号
全額疑似私募債

2012年12月 11.16 kW



2号
社債
銀行融資

2013年11月
47.88 kW



3号
無配当出資
兵庫県無利子融資
宝塚市再エネ基金

2015年3月
45.36 kW



4号
市民出資
兵庫県無利子融資

2016年 4月
46.8 kW



5号
クラウドファンディング
自家消費型

2016年2月 23.88 kW



6号
コミュニティ財団
共感寄付

2016年6月 11.04 kW

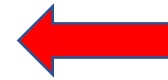
宝塚観光
マップ



宝塚市はこんなまち

宝塚市の人口
225000人
北部西谷地域の人口
2300人を下回る
高齢率46%超

宝塚市の北部地域は
再生可能エネルギー
の宝庫



豊富な森林資源

稲作、野菜

酪農



農業の衰退を食い止めたい

農業に関わる人材を増やしたい

耕作放棄地にしない方法とは？



農業 + 再エネ（ソーラー）
（2013年提案）

ソーラーシェアリング 市民農園（2016年実現）



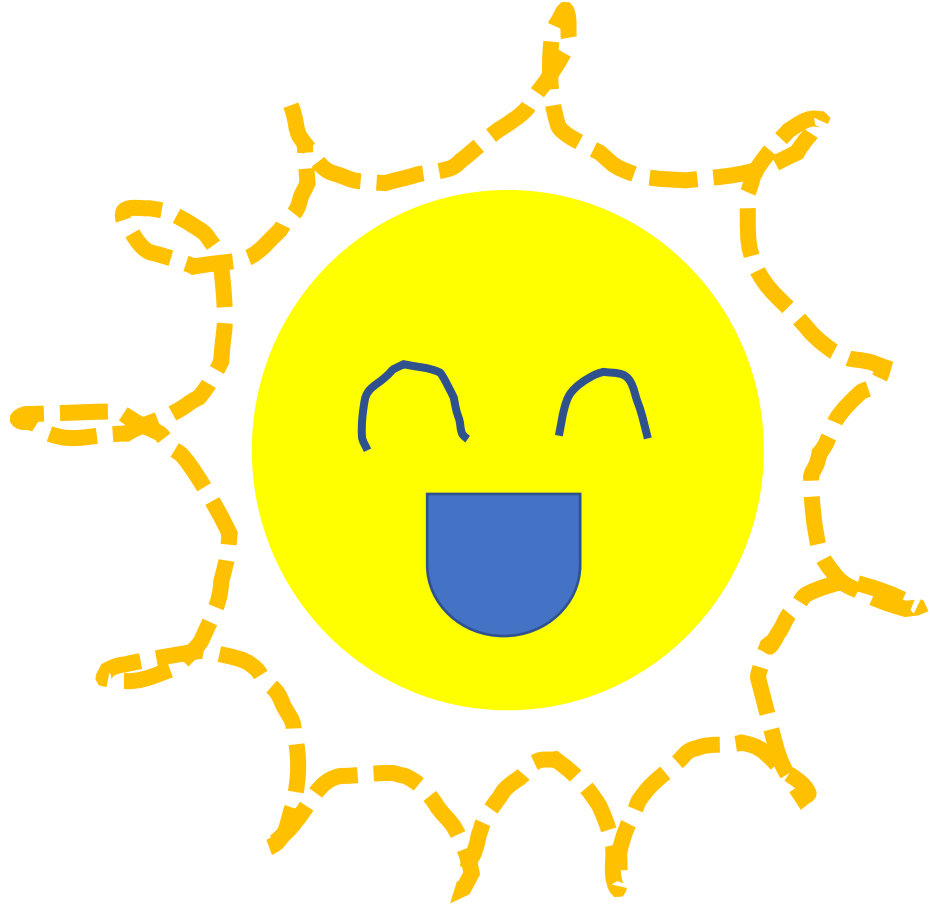
FITによる売電
**20年間の事業
継続が約束さ
れていること
農業継続が条
件**

連携を増やす仕組み

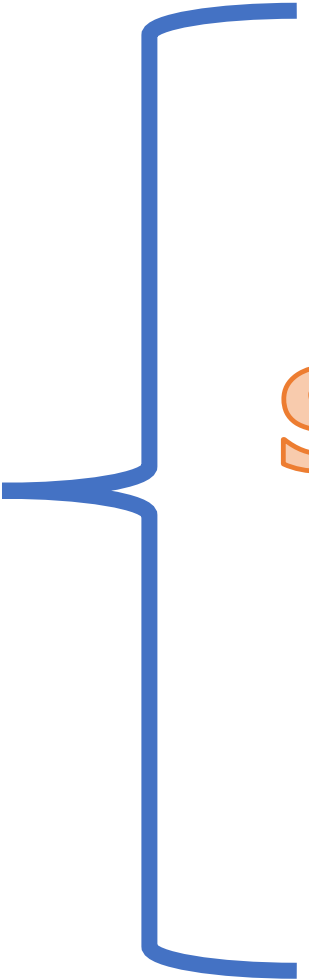
➡特に重要なのは...

事業としての連携が非常に大事
売電先を選び、コラボレーション
のメリットを明確に表すこと

ソーラーシェアリングとは？

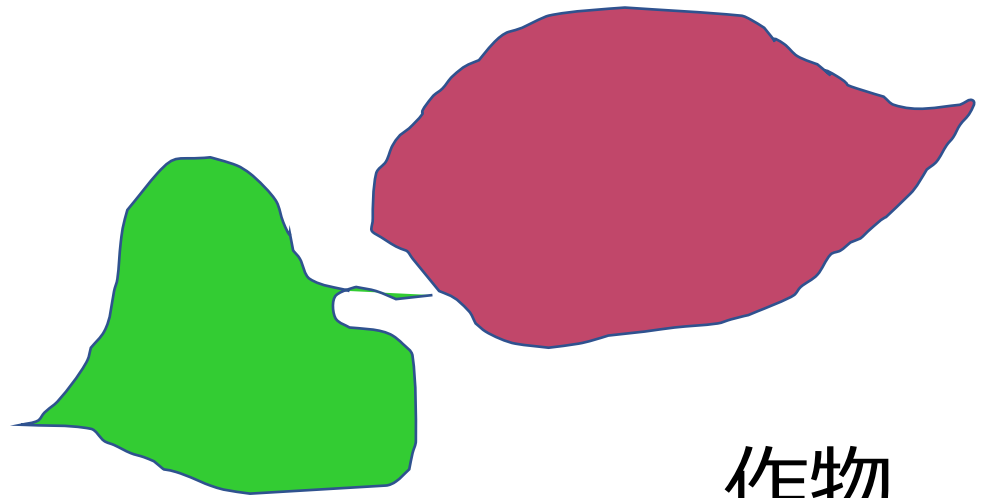


太陽の光エネルギー



電気

share



作物

宝塚すみれ発電所4号の運営形態

発電部門と土地所有者による共同運営

土地の管理、委託
(市民農園の運営)



発電設備の設置、管理、運営



地代支払

売電収入

地代収入

土地管理



地主の古家さん

市民農園利用料収入

作付けは、
市民農園の借り手

利用料金の割引で地域貢献



でんき作るひと

さくもつ作るひと

でんき使うひと



でんき買うひと

農地まもるひと

ソーラーシェアリングの目的は、農地、農業を守り、育てること



一般社団法人 西谷ソーラーシェアリング協会

ソーラーシェアリング発電所

ここではおひさまの恵みを分け合って
電気と**農作物**をつくっています。

「ソーラーシェアリング」とは、農地の上に太陽光パネルを設置して太陽光をシェアする(分け合う)ことによって、農業と発電事業を両立させることです。太陽光パネルを一定の間隔をあけて設置することで、農作物に必要な日射を確保し、1つの土地で農業と発電事業を両立することができます。農地を守りつつ、発電した電気は「コープでんき」の電源として活用しています。



コープこうべの
コープでんき



生活協同組合コープこうべ

さらにわかりやすく！取組をアピール！

宝塚市西谷地区で農地を守るソーラーシェアリング8基



2015年8月 58.5 kW



2015年11月 37.44 kW



2015年12月 50.7 kW



2016年4月 46.8 kW

400 kWを超えました！



2016年12月 51.67 kW



2017年7月 57 kW



2018年12月 57 kW

売電先はすべてコープでんきに！



2019年2月 57 kW



2022年5月14日 畑での作業風景

作業の後は環境学習
5月14日は近畿大学、龍谷大学
教授による
農業から見る食糧事情、地域経
済の回し方講座



6月10日の様子



もぐらによる被害





10月20日の試し掘り



宝塚市民発電所設置モデル事業として作られた、宝塚すみれ発電所第3号の前で話をする井上さん。撮影：篠田有史

情報・知識辞典 imidas

10月13日 掲載記事より

一般社団法人ソーラーシェアリング推進連盟「ソラシェア収穫祭in匝瑳市」

2022. 11. 20



耕作放棄地に広がるソーラーシェアリング



耕作放棄地になった理由は国策の間違いから

...



銀座ミツバチプロジェクトとの出会い



ginpachi

銀座とは

商品

わたしたちの活動

スタッフブログ

メディア一覧

協賛企業一覧

お問い合わせ

2006年に銀座の屋上で養蜂をスタート

人と自然を「つなぐ」銀座ミツバチプロジェクト

2006年春、銀座の周辺で働く有志たちが集まり
ビル屋上でミツバチを飼う活動がはじまりました。

気づけばミツバチが繋いだ人の数は
国内外各地に1.8万人以上

ミツバチたちの活動で
銀座が花や緑であふれていきました。



2019年夏、都市型養蜂を営む銀パチさんと知り合い、さつまいも栽培（屋上緑化による温暖化防止活動）の話から、私たちのさつまいもを焼酎原料に提供することに！

各地にいる「芋人」仲間





全商品 > ミツバチがつないだお酒 > 芋焼酎 銀座芋人

芋焼酎 銀座芋人 商品一覧



芋焼酎 宝塚芋人 ハーフボトル
720ml

「芋人」がつなぐもの
～地域と仲間～

銀座（東京）、巣鴨（東京）、
長者町（名古屋）、札幌（北海道）
宝塚（兵庫）

～事業の連携～

養蜂、サツマイモによる緑化事業
酒造（福祉作業所との連携）

もちろん養蜂もやっている！（西洋ミツバチ編）



Y's honey



西洋ミツバチさん



日本ミツバチさん

宝塚市の老舗ホテル「若水」のロビーラウンジで
見ることができます♪



電力逼迫今こそ再

脱炭素化に向け、政府は太陽光など再生可能エネルギー（再エネ）の主力電源化を掲げ、7月の参院選では多くの党の公約に再エネ拡大策が並ぶ。電力逼迫の折、重要度を増す再エネをどう広げていくべきか。市民が出資して農地などに太陽光発電所をつくる取り組みが進む宝塚市の事例から、考えたい。

（石沢菜々子）

農園に太陽光パネル「宝塚すみれ発電」

同市北部の西谷地区。サツマイモを育てる市民農園約900平方メートルに支柱が立ち、太陽光パネルが屋根のように等間隔に並ぶ。エネルギーの自給と農業の両立を目指し、非営利型株式会社「宝塚すみれ発電」が6年前に設置した。代表取締

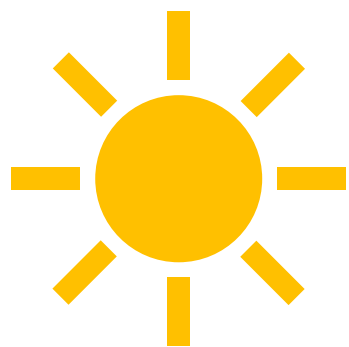
役の井上保子さん(63)は「災害時は（非常用電源として）スマホ200台分くらいの充電ができる。地域の災害拠点でもあるんです」と説明する。

この設備を含め、すみれ発電は6基の「市民発電所」を運営する。最初に設置し

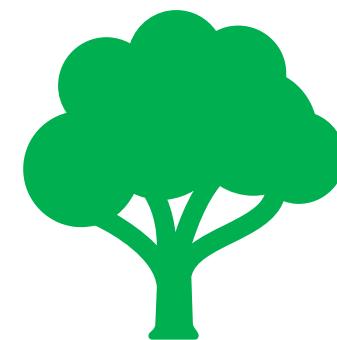
市民農園を活用した「宝塚すみれ発電」の太陽光発電所＝宝塚市大原野（撮影・秋山亮太）



「縦割り行政が弊害」普及へ後押し期待



再生可能エネルギーで
まちづくり



次の世代に伝えたい、持続可能な社会。
資源、エネルギーを分かち合い、平和な世界を創ろう！



再生可能エネルギーは未来を創るツール

- 何をしたいのか、何ができるのか
- 誰かがやってくれると思っていないか
- 使うことが目的になっていないか
- どこを目指すのか
- 次世代に何を伝えたいか

地域を人任せ、人頼みにしない
未来に責任を持とう

さいごに...

あなたの望む100年後の世界は
どんなものですか？

どんな世界になっていてほしい
ですか？

そのためにどんな行動を取りますか？